

敬和創



上田市立第六中学校
学校だより No.5
令和5年8月30日(金)



★NHK 合唱コンクール他、夏季休業中の活動報告♪

合唱部

☆NHK 全国学校音楽コンクール東信ブロック大会 7月31日(水) サントミュージゼにて
課題曲「僕等はいきものだから」 自由曲「にじ色の魚」 金賞 県大会出場決定！
☆同 県大会 8月9日(金) 塩尻市 レザンホールにて 奨励賞

合唱部 レザンホールにて～男子有志とともに、パワーアップして臨んだ県大会



8月24日(土) 小泉地区のお祭に参加
地区の生徒他、吹奏楽部と7組が出店で協力



2 学年代表

始業式：1 学年代表



3 学年代表 (2名)

賞状伝達 合唱部(県大会)



各学年代表者の皆さんが2学期の抱負を発表してくれました。

- ・部活動で個人でもチームでも技能を伸ばしたい、文芸委員としてクラス合唱を支え、盛り上げていきたい。(1年)
- ・先輩方が部活動を引退し、自分たちの番となった。職場体験学習でも、最後まで責任をもつことの大切さを学んだ。自分に厳しく、部活動でも学級でも責任を全うしたい。(2年)
- ・部活動、クラブ引退・・・悔しい思いもしたが、これまでの自分の頑張りに納得し、仲間との出会いに感謝している。これらの思いを糧に、今後の生活に努力し、受験に向かっていきたい。(3年)

☆ 8月校長講話～2学期始業式 2つの「生かす」

長い、そして毎日暑い夏休みでしたが、久しぶりに皆さんの元気な顔を見ることができ、嬉しく思います。今、各学年の代表の方が発表をしてくれました。4人とも、自分の1学期の姿を振り返って、その反省を生かして2学期を充実させたいという気持ちが伝わってきて、素晴らしいなと思いました。全校の皆さん、一人一人も、2学期を充実させたいという気持ちをもってほしいと思います。

1学期の始業式で『「自分の思い、考えをもつ」「自分も人も大切にすること」「人とつながる」「挑戦すること」の4つの言葉を意識して一年間学んでいきましょう。』という話をしましたが、覚えてくれている人はいますか。是非、2学期もこの4つの言葉を意識して過ごしてください。

さて、今日は、4つの言葉にも関連しますが、『2つの生かす』について話をします。

第一に、「自分らしさを生かす」ということです。世界人口約81億人の中でたった1人しかいない自分です。どんなに頑張ったところで自分は自分、決して他人と入れ替わることができない存在です。その地球上でたった一人の自分を生かすこと、それは自分のために役立つ自分が生きている証でもあります。そこで、自分らしさを生かすためには自分と他人と比べることなく自分を信頼し自信をもつことが大切です。「私は〇〇さんよりできる」とか「〇〇さんにはかなわない」という考えからは自分という存在は見えてきません。自分と他人との比較からは決して自信は生まれないのです。「比べるなら自分の過去」と比べることです。今までの自分と今の自分を比べ、これまでできなかったことができ、わからなかったことが分かるようになった。そのことを振り返り、多くの努力や苦勞によって乗り越えた体験こそが自信と自分らしさにつながるのです。是非、自分に自信をもって人のために役立つ自分の役割を見出してください。



自分らしさを生かす

1秒を生かす

第二に「1秒を生かす」ということです。一般に聞き取りやすい話し言葉のスピードは1秒に5文字であるとされます。実はこの5文字が私たちの生活に大きく関わるのです。実は、挨拶の言葉のほとんどが5文字なのです。「こんにちは ありがとうございます さようなら」に代表される言葉です。「おはよう」にいたっては、わずか4文字です。人とのコミュニケーションをはかる挨拶は、たった1秒でできるのです。また、良い言葉は良い結果を生む、と言われるように、自分が発する言葉が現実をつくり、私たちの生き方を定めていくのです。「がんばろう」という意欲のある生き方と「もうやめた しかたない」という諦めの生き方の違いは5文字でしかありません。このわずか5文字の差、この積み重ねが人生の差になるのです。この5文字、声にしてわずか1秒をどのように用いるかは、一人一人に任された貴重な選択です。価値ある1秒の実践を通して、人のために役立つ自らの生き方を全うして欲しいと思います。

先に紹介した4つの言葉以外にも「自分らしさを生かす」「1秒を生かす」ということも頭において、2学期もそれぞれが充実した第六中学校での生活を日々送ってくれることを願っています。

☆新しいALTの先生紹介～Ashley Vandling 先生



これまでのALT ケビン先生が育児休暇に入られたため、2学期から新しいALTの先生に替わりました。

英語の授業を通して新にお世話になる先生は、Ashley Vandling (アシュリー・ヴァンドリング) 先生です。アメリカ アリゾナ州の出身です。昨年度1年間は日本に留学されており、日本語も堪能です。異文化コミュニケーションを専攻され、デジタルアートも学んでいたそうです。日本の古代の歴史に興味があり、たくさんのご存じです。六中の生徒の皆さんの元気な姿に触れ、嬉しそうでした。先生との交流を通して多くのことを学べるとよいです。

2学期の登校日数は83日です。この期間は飛翔祭やミニ運動会、新人戦、ふるさとタイムやPTA講演会など、友との学びを深め、思い出に残る多くの行事があります。保護者の皆様、長い2学期もご協力どうぞよろしくお願いいたします。

第六中学校校長：中野 裕頭 担当 富山 貴子（教頭）TEL 22-5013 ueda6@sk.ueda.ed.jp